

# 国立音楽大学附属中学校入学試験問題

令和三年二月一日実施

## 国語

※解答はすべて解答用紙に記入すること。

一、次の①～⑩の――線について、漢字は読み方をひらがなで書き、カタカナは漢字に直しなさい。

- ① 声援に応える。
- ② 易しい文章を読む。
- ③ 仕事を部下に任せる。
- ④ 有益なアドバイスをする。
- ⑤ 彼とは面識がある。
- ⑥ ケワしい山を登る。
- ⑦ 彼女の演奏がゼツサンされる。
- ⑧ エキシヤを建て直す。
- ⑨ 病院のセツビを整える。
- ⑩ お菓子をセイゾウする。

二、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

① 現代は、時間がどんどん加速されているとも言われます。何事にも「早く、早く」とせかされ、時間と競争するかのよう①に忙しさに追われていることを、大人たちはこういう言い方をしているのです。いつも同じ速さで時間が流れているはずなのに、時間の間隔が短くなったような気分②で追い立てられているためでしょう。それをエンデは『モモ』という作品の中で「時間どろぼう」と呼びました。ゆっくり花を見たり音楽を楽しんだりする、そんなゆったりした時間が盗まれていく、という話でした。いつも何かしていないと気が落ち着かない、現代人はそんなふうになっています。

② その一つの原因は、世の中が便利になり、能率的になって、より早く仕事を仕上げるのがより優れていると評価されるようになっていたためと思われ③ます。競争が激しくなると、人より早くしなければ負けてしまうという恐れを心に抱くようになったためでしょう。

③ しかし、それでは心が貧しくなってしまうそうです。何も考えずにひたすら決められたことをして④いて人生が楽しいはずがありません。ゆっくり歩むからこそ、道ばたに咲く花に気づいたり、きれいな夕日を楽しむ気分になれるのです。私たちは、時間を取り返し、もっとゆったりした時間を生きる必要がありそうです⑤ね。

④ 映画や芝居を見ている間、実際とは違う時間の流れを経験していることに気づきます。たった一時間の映画で一年間の物語や一〇年の変化が描かれていても、それをすんなりと受け入れているからです。あるいは、江戸時代の日本や一八世紀の西洋の話でも、いつの間にか主人公の気持ちになって同じ時間を過ごしていることもあります。現実の物理時間から解放されて、物語の時間に同調しているのです。

⑤ この時間感覚は、私たちの頭に想像するという働きがあつて、知らぬ間に、主人公の気持ちを推測したり、ああなつて欲しいとか、こうするのではないかと推理したり⑥していることで生まれるものです。これは人間が持つ素晴らしい能力で、人の気持ちを思いやったり、友達を元気づけたりしたいという心に通じています。時間を超えて想像することは人間らしい心の作用と言えるでしょう。

⑥ 夜眠っているときにしばしば夢を見ます。なぜ夢を見るのかよくわかっていませんが、きっと、昼間頭に入ってきたさまざまな事柄を整理しているのでしょう。夢を見ることを禁ずると（睡眠実験中に、夢を見始めると目がぐるぐる動いたり、脳波が変化する

ので、そのようなことが起こり始めると目を覚まさせるのです。精神的にまいってしまい病気になるそうです。夢を見ることは健康のためにもよいことなのです。一晚にたくさん夢を見ているようですが、ほとんど覚えていないのがふつうで、たまに一つの場面だけが頭にこびりついていたりすることもありますね。

**7** ⑤ 夢のなかの時間も、現実の時間とは大きく異なっています。ずいぶん昔のことが出てきたかと思うと、さっき起こったことが繰り返して出てくることもあって、勝手気ままに時間が流れて過去や未来に自由に行き来できるのです。といっても、自分で夢や時間を選ぶというわけにはいきません。もともと、ノーベル賞をもらった学者には、夢の中でヒントを得たという人もいます。日頃考え始めていると、それに合わせた夢を見ることもあるのでしょうか。

**8** 中国に「胡蝶の夢」という昔話があります。蝶になって花々をめぐる夢を見て、さて夢を見ている方が自分なのか、蝶となって飛んでいる方が自分なのか、わからなくなったという話です。夢を見た後、そんなことを考えたことはありませんか。**a** 「邯鄲の夢」という話もあります。夢のなかで大金持ちになるのですが、ふっと夢からさめて我にかえると、さつき火にかけた鍋がまだ煮えていなかった、という物語です。人間が栄えるのも短い間にしか過ぎないことを知り、自分の人生を考え直すのです。こんなふう

に、夢は時間を超越しているので、見るのが楽しみするときもあるし、怖いときもありますね。

**9** 夢と同じで、**b** 夢ではなく、ほんの一瞬だけぼんやりと思っていたのに、時間が長く経ったと感じたということはありませんか？特に、あれもして、これもして、その次にこんなことをしよう、なんて未来のことを考えているときに経験することが多いようです。あるいは、こんなことがあって、次にあんなことが起こって、それからまたあんなふうになって、と過去のことを思い出す場合にも経験します。未来や過去の時間が凝縮されて、今の瞬間にかたまっ出てくるのでしょうか。

**10** 考えてみると、過去から現在、**c** 未来へと時間は流れていきますが、現在という時間は一瞬のことで長さがないのかもしれない。すぐに過去になってしまうからです。また、未来は長いように思えるのですが、すぐにやってきて過去になってしまいます。現在の時点で、過去や未来のある部分が一瞬の間に頭のなかに浮かんでくると解釈できそうです。時間が折りたたまれているのかもしれない。

**11** ⑥ 両親から叱られている時間はたった三分なのに三〇分にも感じられ、遊園地で遊んでいる間は三時間もあつたのに三〇分くらいにしか感じられない、という経験をたびたびしたことがあると思います。実際の物理時間は三分と三時間という大きな差があるのに、心のなかでは同じ三〇分の時間が経ったような気になることです。これも心理時間の不思議で、心の持ち方で時間の流れる速さが異なるためでしょう。

**12** 叱られているときは、過去のいろんなことが思い出されるし、怒っている両親の気持ちを考えているし、早く終わってくれないかと願っている、そんなさまざまな思いが浮かんできて時間が引き延ばされているように感じてしまうのでしょうか。遊園地で遊んでいるときは、遊びに夢中になってしまい、アレコレ他のことを考えないため空白の時間が多くなっています。流れる時間のなかにどれくらい思いが詰まっているかの差と言えるのではないのでしょうか。

(池内了『時間とは何か』より)

※エンデ：ドイツの児童文学者。

問一 ———— 線①「いつも同じ速さで時間が流れている」とありますが、本文ではこのような時間をどのように表現していますか。最もふさわしいものを次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

ア 物理時間

イ 物語の時間

ウ 夢のなかの時間

エ 心理時間

問二——線②「時間の間隔が短くなったような気分」とありますが、そのような気分になる理由を本文の言葉を用いて説明しなさい。

問三——**2**段落の  に入ることでわざととして最もふさわしいものを次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

- ア 光陰矢のごとし      イ 一寸先は闇      ウ 時は金なり      エ 歳月は人を待たず

問四——線③「ゆったりとした時間を生きる必要がありそうですね」とありますが、筆者がそのように考える理由を答えなさい。

問五——線④「時間を越えて想像することは人間らしい心の作用と言える」とありますが、そう言える理由を述べている

左記の文の A (十字以内) ・ B (十五字以内) にあてはまる言葉を本文より抜き出して答えなさい。

A (十字以内) している時間感覚は、主人公の気持ちを推測、推理することで生まれる B (十五字以内) であり、他者を思いやるという心に通じているから。

問六——線⑤「夢のなかの時間も、現実の時間とは大きく異なっています」とありますが、何に加えて「夢のなかの時間も」なのですか。最もふさわしいものを次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

- ア 物理時間      イ 物語の時間      ウ 空白の時間      エ 未来や過去の時間

問七——a c に入る言葉として最もふさわしいものを次のア～エの中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ア しかし      イ 例えば      ウ なぜなら      エ そして      オ また

問八——線⑥「両親から叱られている時間は三〇分くらいにしか感じられない、という経験」とありますが、このような経験はなぜ起こるのですか。その理由を本文の言葉を用いて説明しなさい。

問九——**1**～**12**の段落を内容上、五つのまとまりに分けると、どのような構成になりますか。最もふさわしい分け方のものを次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

- |   |  |
|---|--|
| ア | <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1</span> ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2</span>   <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3</span> ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4</span> ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">5</span>   <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">6</span> ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">7</span>   <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">8</span> ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">9</span> ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">10</span>   <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">11</span> ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">12</span> |
| イ | <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1</span> ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2</span> ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3</span>   <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4</span> ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">5</span>   <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">6</span> ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">7</span> ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">8</span>   <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">9</span> ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">10</span>   <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">11</span> ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">12</span> |
| ウ | <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1</span> ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2</span>   <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3</span> ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4</span> ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">5</span>   <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">6</span> ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">7</span> ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">8</span>   <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">9</span> ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">10</span>   <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">11</span> ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">12</span> |
| エ | <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1</span> ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2</span> ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3</span>   <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4</span> ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">5</span>   <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">6</span> ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">7</span>   <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">8</span> ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">9</span> ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">10</span>   <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">11</span> ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">12</span> |

三、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

中学入学から間もない頃、学校に通えなくなってしまったまいはしばらくの間、親元を離れて西の魔女ことおばあちゃんの家で暮らすことになった。おばあちゃんの指導の下、まいは魔女修行をすることとなり、その修行で大切なのは何でも自分で決めるということだった。

まいが歯を磨いたり、パジャマに着替えたりしておばあちゃんの部屋の布団に入ると、おばあちゃんもすぐにやって来て電気を消し、まいの隣の布団に入った。

「早かったね。おばあちゃん」

「まいが手伝ってくれたので、もうすることはありませんでしたよ」

「ねえ、おばあちゃん」

「はい？」

「何でパパはわたしが学校に行かないのか聞かないんだろう？」

「ママは聞きましたか？」

「ううん。そういえばおばあちゃんも聞かなかったね」

「みんな、まいのことを信頼しているからでしょう。まいが行かないと言うからには、きっとそれなりの理由があるからだみんな思っているんですよ」

まいは布団をあごまで引き寄せた。

「女子の付き合いって、独特なんだよね」

まいは、ぼそぼそとそう言うと、ためいきをついた。

「クラスの最初にバタバタって幾つかのグループができるんだ。そして休み時間に一緒にトイレに行ったり、好きなスターの話とかするんだけどさ」

「大変ですね」

「その波に乗ったらそんなに大変じゃないんだよ。最初気の合いそうな友達のグループに入るまでがすごく気をつかうけれど。去年まではわたし、すごくうまくやれたのよね。でも、何だか今年は、そういうのが嫌になったんだ」

「グループに入るのですか？」

「うん。グループができるときの心理的な駆け引きみたいなのがね。グループになりたいなって思う子の視線を捉えてにっこりするとか、興味もない話題に一生懸命相づちを打つとか、行きたくもないトイレについて行くとか。そういうのが、何となくあさましく卑しく思えてきたんだ」

「わかりますね」

「それで、今年はどう一切そういうのやらなかったんだ。そうしたら、去年まで仲良かった子まで、ほかのグループに入っちゃって、結局一人になっちゃったんだ」

「他のグループに入った子は、もう、まいと仲良くできないんですか？」

「できないんだよ」

まいはおばあちゃんの方に向きを変えた。何だかステレオの使い方方を教えているような気分だった。

「その子がわたしと話をしたいと思っても、そのグループの子が呼んだらすぐそっちに行かないといけないんだ。つまり、どっちを大事に思っているかという忠誠心がそこで問われるんだよね」

「難しいんですね」

「けっこうね。でも、わたしはその子のことを恨んでいないよ。だって無理なもの」

まいは淡々と醒めた声で言った。

「そういうグループ同士では交流はないんですか？」

「敵対するところもあったり、わりとグループ同士仲がいいところもあったりするんだけど、今度のわたしのクラスは、珍しいこ

④ とにそれぞれのグループがお互い友好的になろうとしたらしいんだよね」

「そういうことも可能なんですか？」

「うん、簡単だよ。みんなで、だれか一人を敵に決めればいいんだもの」

「……」

⑤ これだけ聞けば十分だった。

おばあちゃんは深いため息をつき、まいはしばらく黙り込んで気持ちを落ち着けた。泣かなかったのは我ながら上出来だと思った。

「それでね、明日までにパパに転校の返事をするって言ったから、ずっと考えていたんだけど……」

「魔女は自分で決めるんですよ。わかっていますね」

おばあちゃんは人さし指でまいのおでこをつつついた。

「うん、わかってる。でもちよつと聞いて」

「はいはい」

「たとえ転校してあのクラスからは抜け出せたにしても、いちばん根本的な問題は解決しないんだよ。だから、何か素直に喜べないのよね。敵前逃亡<sup>しゅぼう</sup>みたいで、後ろめたいんだ」

「根本的な問題の解決なんて、まいのような新米の魔女見習いには無理ですよ。この場合の根本的な問題は、クラス全体の不安ですからね。クラスのみんながそれぞれ不安なんですよ」

「でも、わたしの問題もやっぱりあると思う」

⑨ まいは、けなげにも言い切った。

「わたし、やっぱり弱かったと思う。一匹狼<sup>いっぴきおおかみ</sup>で突っ張る強さを養うか、群れで生きる楽さを選ぶか……」

「その時々で決めたらどうですか。自分が楽に生きられる場所を求めたからといって、後ろめたく思う必要はありませんよ。サボテンは水の中に生える必要はないし、蓮<sup>はす</sup>の花は空中では咲かない。シロクマがハワイより北極で生きるほうを選んだからといって、それがシロクマを責めますか」

これは説得力があった。でも、まいも負けてはいなかった。もうまいはほとんどおばあちゃんに遠慮<sup>えんりよ</sup>することはなくなっていた。

「おばあちゃんはいつもわたしに自分で決めるって言うけれども、わたし、何だかいつもおばあちゃんの思う方向にうまく誘導<sup>ゆうどう</sup>されているような気がする」

おばあちゃんは目を丸くしてあらぬ方向を見つめ、とぼけた顔をした。

(梨木香歩『西の魔女が死んだ』より)

問一 —— 線①「それなりの理由」とは、どのような理由ですか。最もふさわしいものを次のア～エの中から選び、記号で

答えなさい。

ア 両親としてまいの気持ちをくんで理解できる理由

イ まいが両親に内緒でひとりで勝手に考えている理由

ウ まいが両親に話したら怒られると思うような理由

エ 両親としてまいの話を聞かなくてもよい程度の理由

問二 —— 線②「そういう」が指している内容として最もふさわしい部分を二十五字以内で抜き出し、解答欄に合うように

答えなさい。

問三 ――線③「何だかステレオの使い方を教えているような気分だった」とありますが、どのような気分だったのですか。最もふさわしいものを次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

- ア お年寄りに流行のものを理解させようと話しているような気持ち
- イ 複雑な機械の操作を面倒だと思いつながら教えているような気持ち
- ウ 相手のわかっていて丁寧を確認しながら話しているような気持ち
- エ 誰もがわかることを一から順番に教えているような気持ち

問四 ――線④「それぞれのグループがお互い友好的になろうとした」とありますが、どのようなことをしたのですか。具体的に答えなさい。

問五 ――線⑤「これだけ聞けば十分だった」とありますが、どのようなことが十分だったのか、答えなさい。

問六 ――線⑥「根本的な問題」とありますが、まいが考える「根本的な問題」とはどのような問題ですか。最もふさわしいものを次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

- ア 自分に非がないのだから謝ることなく仲の良い友だちとヨリを戻すということ
- イ 相手の出方に応じて態度を変えることはせずに友だちと上手に付き合うということ
- ウ 仲直りするためには恥ずかしながら友だちに本当の気持ちを伝えるということ
- エ 友だち同士がグループ化しないように根気強く仲間はずれをやめさせるということ

問七 ――線⑦「後ろめたい」、⑧「けなげに」とありますが、それぞれの類義語として最もふさわしいものを次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

- |          |          |
|----------|----------|
| ⑦ 後ろめたい  | ⑧ けなげに   |
| ア 気にかける  | ア いじらしく  |
| イ 気がとがめる | イ とげとげしく |
| ウ 気にさわる  | ウ たどたどしく |
| エ 気がまぎれる | エ うるわしく  |

問八 ――線⑧「クラス全体の不安」とありますが、おばあちゃんが考える「クラス全体の不安」とはどのような不安か、答えなさい。

問九 ――線⑩「おばあちゃんの思う方向にうまく誘導されている」とありますが、おばあちゃんの考えとはどのようなものですか。本文の言葉を用いて、二十五字以内で解答欄に合うように答えなさい。